

前期基本計画の取り組みの柱



※1 よりいブランド：本計画では、特産品や名所、おもてなしなど、寄居を楽しむさまざまな魅力が凝縮されたまちのイメージを総称して表現している。
 ※2 コンパクトなまち：自動車に過度に頼り過ぎずに、身近な範囲で日常生活の大半の用が足せる環境が整ったまち。

第6次寄居町総合振興計画の詳細は町公式ホームページのほか、総合政策課で閲覧できます。なお、3月には計画の概要版を毎戸配布する予定です。

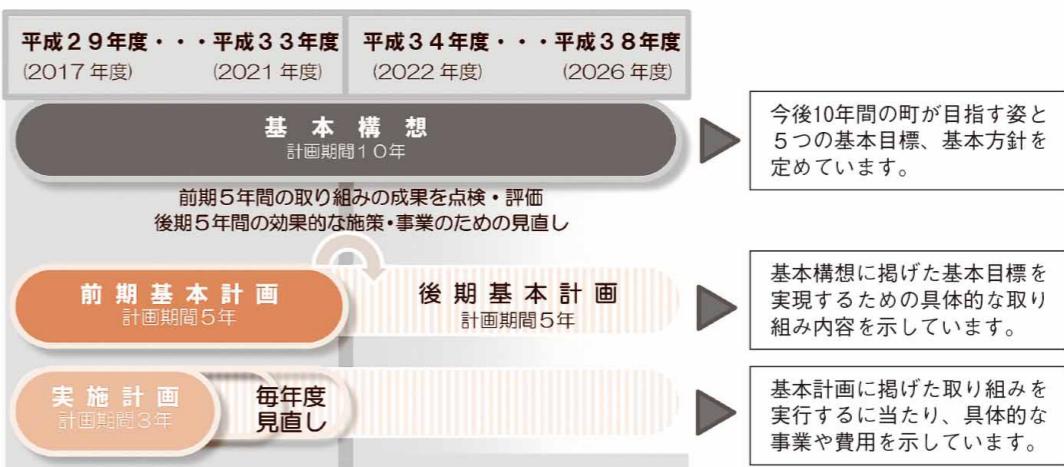
問い合わせ／総合政策課（☎ 581・2121 内線 461）へ。

成29年度からの新しいまちづくりの道しるべとなる「第6次寄居町総合振興計画 基本構想（10年間）および前期基本計画（5年間）」が、昨年12月町議会において議決されましたので、その概要についてお知らせします。

この総合振興計画は、長期的な視点で町が目指す姿や基本目標を定め、その実現のための方針や手段等を総合的、体系的に示す町政運営の最も基本となるものです。

平成29年度からは、前期基本計画に基づく施策・事業を展開し、魅力あるまちづくりを進めていきます。

総合振興計画の構成と期間



寄居町が目指す姿

むげんだい
可能性 **笑顔満タン よりいまち**

この言葉には、次のような「決意」と「願い」が込められています。

むげんだい
『可能性 **であること**

未来に向けて、町民一人ひとりが、自分らしくいきいきと活躍する『無限の可能性』を引き出せるまちを目指します。

『笑顔満タン』であること

いつでも、どこでも、町民の『笑顔』に出会えるまちを目指します。また、町民の『笑顔』が大勢の人を呼び寄せ、町に訪れた人を『笑顔』にさせることで、活気と賑わいを育んでいきます。

第6次寄居町総合振興計画を策定しました！